

国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

ほっかいどうの社会保障

2014年8月14日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

住むところぐらい自分で決めさせてよ！

「STOP！精神科病棟転換型居住系施設 in 北海道」 当事者・家族も訴え

8月11日、「STOP！精神科病棟転換型居住系施設～住むところぐらい自分で決めさせてよ in 北海道」が開催され、札幌市をはじめ旭川市や滝川市などから障害当事者や家族、支援者約120名が集まりました。

障害者団体の共同したとりくみ

厚労省は、検討会の意見を踏まえて「長期入院精神障害者の地域移行先として、精神科病棟を居住施設に転換する施策」をすすめている。全国で反対運動が広がっていますが、北海道でも広げようと、きょうされん北海道支部が、精神障害者交通費助成制度拡充、障害者自立支援法応益負担反対運動に関わった障害者関係団体にも呼びかけ、実行委員会形式で、集会や今後も一緒に運動する構成団体を増やすことを確認しました。

集会では、厚労省の検討会の一人で「病棟転換、凍結し先に他退院移行策を検証すべき」と主張した全国精神保健福祉センター長会長の田邊等氏が講演しました。当事者からは、不安の声や「どこで誰と生活するかは自分で選択できることは障害者権利条約に第19条に規定されている」など怒りの声が挙がり、家族からも、「この国の政策はTPPを例にしても徐々に条件付きとなし崩していく。到底受け容れられない」などの発言が相次ぎました。集会では、転換型居住施設化に反するアピールや今後のとりくみを確認しました。



「難病患者の医療費負担増はやめて」「対象からはずさないで」

パブコメ **応募** を **難病医療** (政令~8/20・省令~8/27)・**児童福祉法** (政令~8/22・省令~8/29)

今年5月の国会で、難病患者会など長年の取り組みによって「難病の患者に対する医療等に関する法律」「児童福祉法の一部改正」が成立し、来年1月から実施されます。この法は、前進面がある一方で、「低所得者や重症者の医療費負担が増える」「対象だった人がはずされる」などの危険性があります。詳しくは「政令(施行令)」「省令(施行規則)」に委ねられ、その案がパブコメされています。積極的に応募しましょう。



●医療費の負担上限月額(施行令)の問題点の一例

市民税非課税・重症は無料→**有料**に/低所得者は**負担増**/入院時の食費**全額自己負担**に

●指定難病の要件(規則)の問題点の一例

人口の0.1%程度以下(潰瘍性大腸炎、パーキンソン病などがはずされる可能性も)

*現在重症度などが検討され今後軽症度者がはずされる案が出される可能性もあります。

難病医療・施行令
児童福祉法・施行令
難病医療・施行規則
児童福祉法・施行規則

<http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495140142&Mode=0>
<http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495140143&Mode=0>
<http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495140145>
<http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495140148>

人工呼吸器装着者の自己負担をゼロにしてください (母はALS発症四年、私は長女です)

本人や家族の負担する諸費用は決して小額ではありません。患者本人は経済活動に参加できないので、家族に介護面でも負担をかけ、さらに経済面でも負担をかけてしまうことで身の置き所のない心苦しい気持ちをいつも持っています。それが患者は病気の状態だけでも大変なのに、さらに患者を苦しめることになります。

病気になりたい人はいないですが、ほとんどの人が病気になるのが現実です。病気だから不幸という現象は社会が作ることで感じます。病気であっても、障害があっても、生きていくことが大切です。…人から見れば、食べられず、話せず、認知症が進んでいる状態で呼吸器をつける理由がわからないといわれることもあります。…家族の私は、今、呼吸器を選択して本当に良かったと思っています。母はその生きていく姿で生命の大切さ、人が助け合うことの大切さを多くの人に伝えていきます。…経済的な理由や介護力不足が理由で生きる選択をあきらめる人がいると聞くと本当に残念でなりません。…一回しかない生命をそんな理由であきらめてしまうのは社会の問題です。せめて、経済面での負担だけでも軽くしてほしいと願います。(すでに応募している方の紹介です)